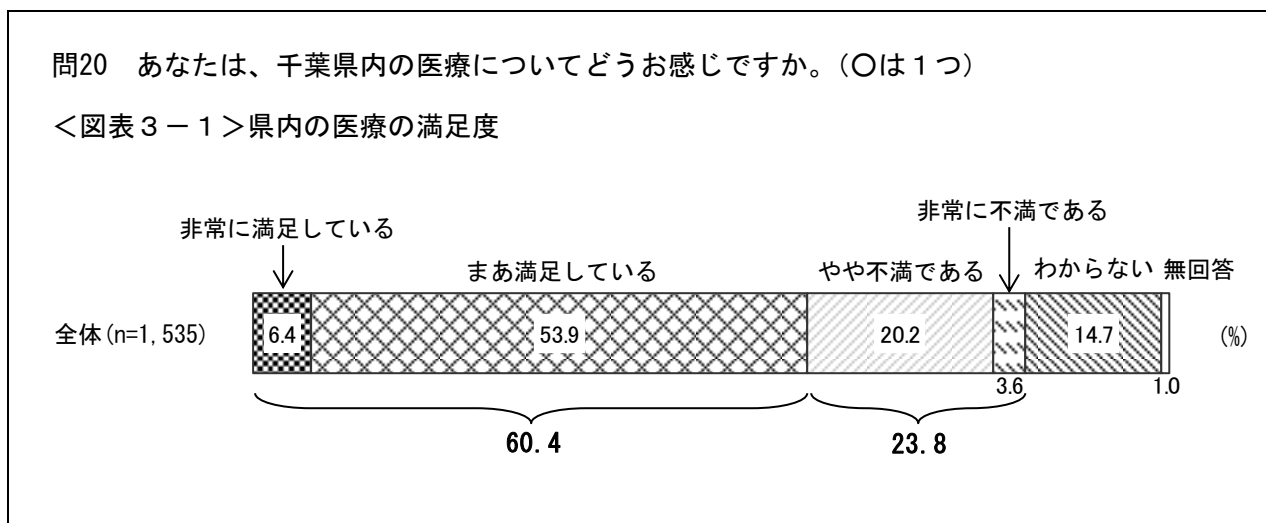


3 医療について

(1) 県内の医療の満足度

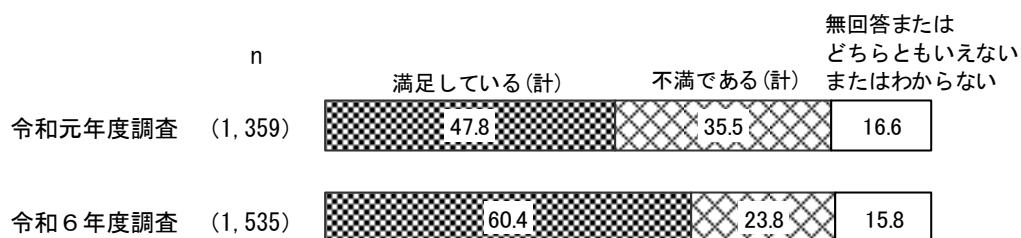
◇『満足している（計）』が6割



県内の医療の満足度を聞いたところ、「非常に満足している」（6.4%）と「まあ満足している」（53.9%）を合わせた『満足している（計）』（60.4%）が6割となっている。

一方、「やや不満である」（20.2%）と「非常に不満である」（3.6%）を合わせた『不満である（計）』（23.8%）は2割台半ばとなっている。（図表3-1）

〔参考〕 令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

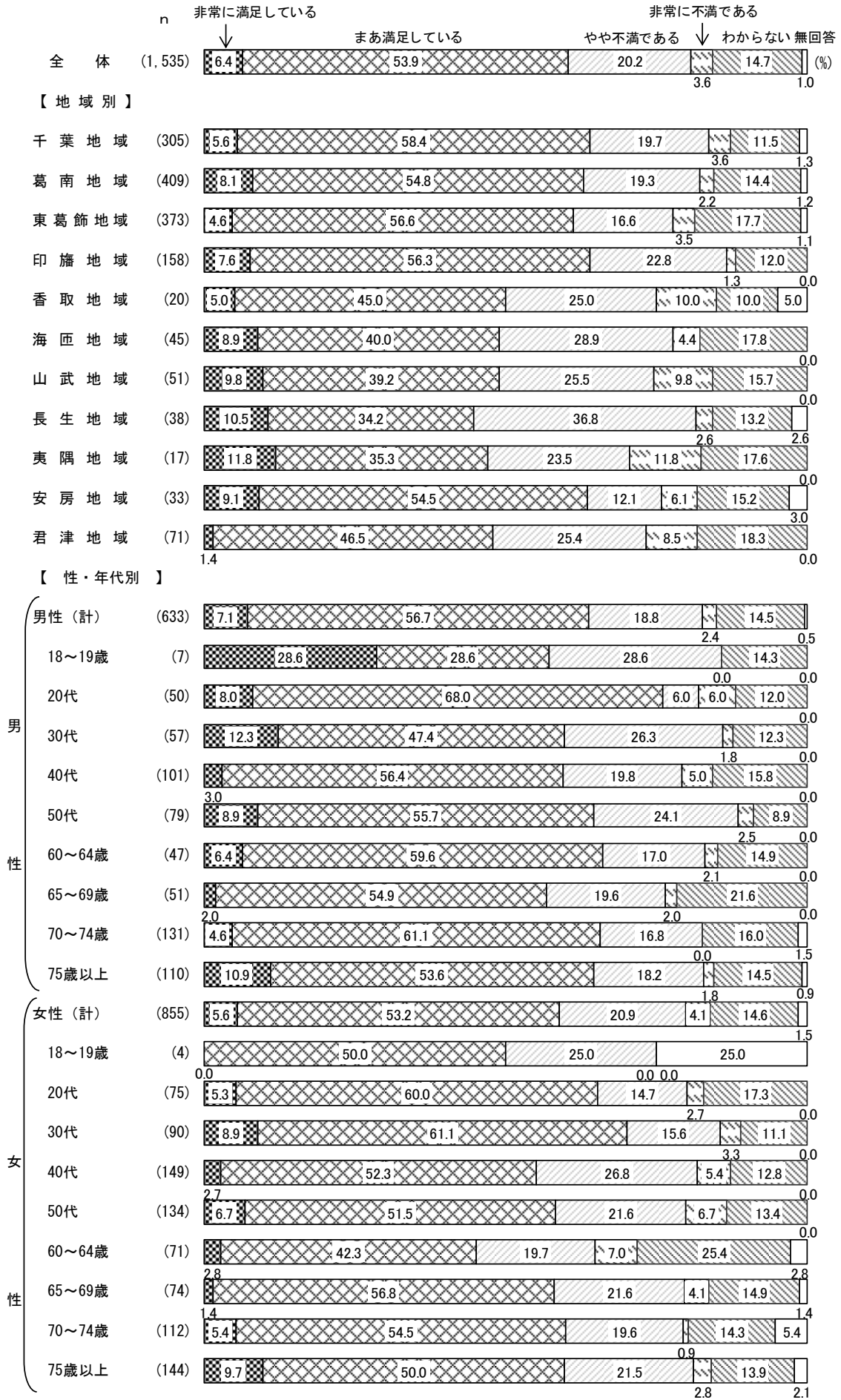
地域別にみると、『不満である（計）』は“長生地域”（39.5%）が約4割、“君津地域”（33.8%）が3割台半ばで高くなっている。（図表3-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の20代（76.0%）が7割台半ばで高くなっている。

一方、『不満である（計）』は女性の40代（32.2%）が3割を超えて高くなっている。（図表3-2）

<図表3-2> 県内の医療の満足度／地域別、性・年代別



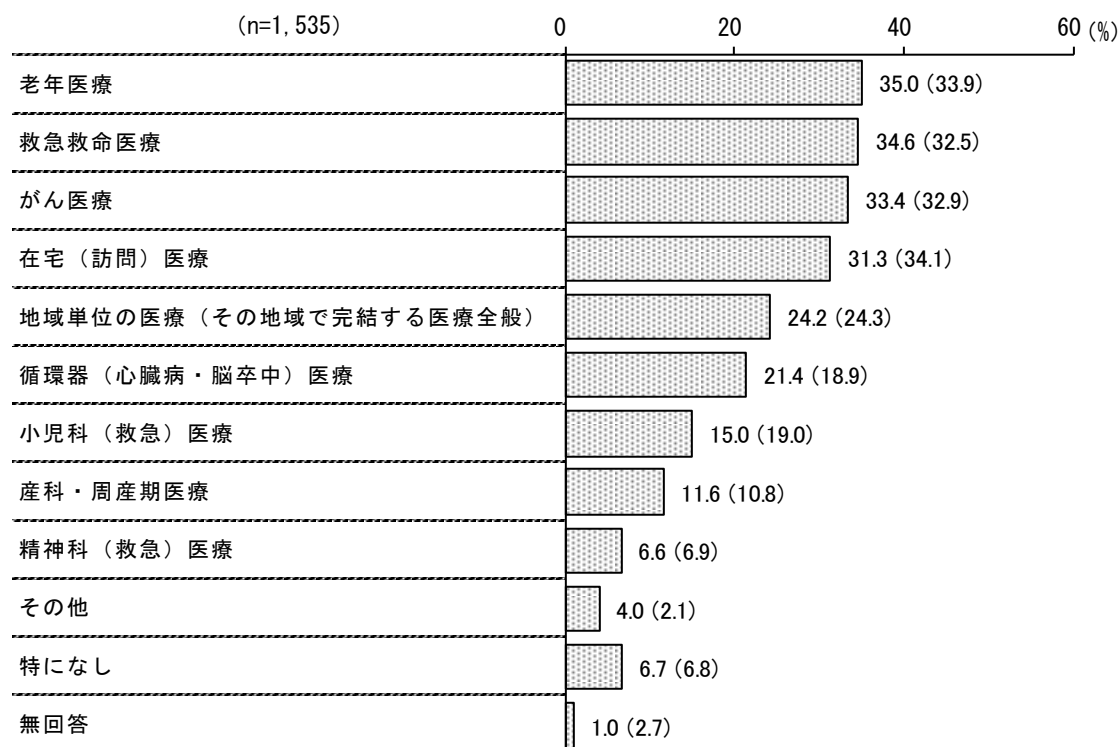
（２）今後、県に力を入れて欲しい医療

◇「老年医療」が３割台半ば

問21 あなたが今後、県に力を入れて欲しい医療について次の中から選んでください。

（○は３つまで）

＜図表 3-3＞今後、県に力を入れて欲しい医療（３つまでの複数回答）



注）（ ）の数字は令和元年度の同様の項目による調査結果 n=1,359

今後、県に力を入れて欲しい医療について聞いたところ、「老年医療」（35.0%）が３割台半ばで最も高く、以下、「救急救命医療」（34.6%）、「がん医療」（33.4%）、「在宅（訪問）医療」（31.3%）が続く。（図表 3-3）

【地域別】

地域別にみると、「在宅（訪問）医療」は“印旛地域”（45.6%）が４割台半ばで高くなっている。（図表 3-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「老年医療」は女性の75歳以上（61.8%）が６割を超え、女性の65～69歳（55.4%）と男性の70～74歳（55.0%）が５割台半ば、女性の60～64歳（52.1%）が５割を超えて高くなっている。

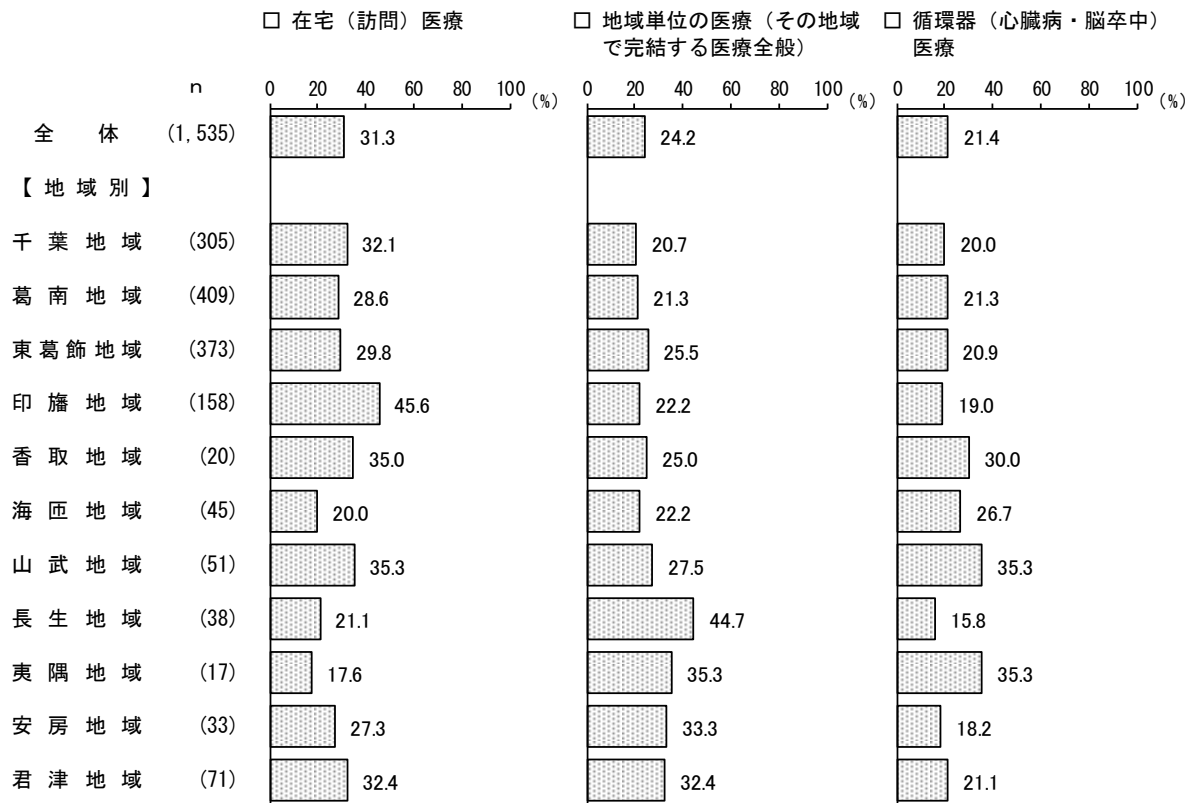
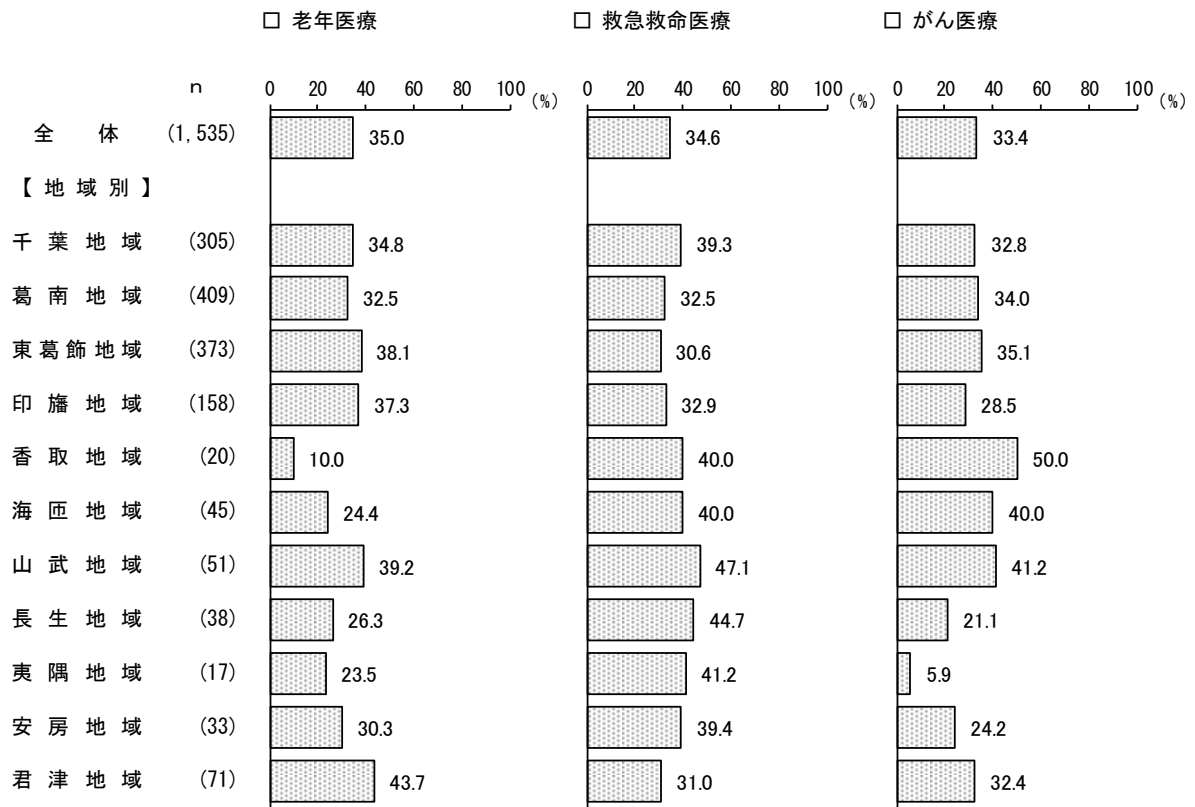
「救急救命医療」は男性の50代（48.1%）が約５割、女性の40代（45.0%）が４割台半ばで高くなっている。

「がん医療」は男性の50代（49.4%）が約５割、男性の40代（45.5%）が４割台半ばで高くなっている。

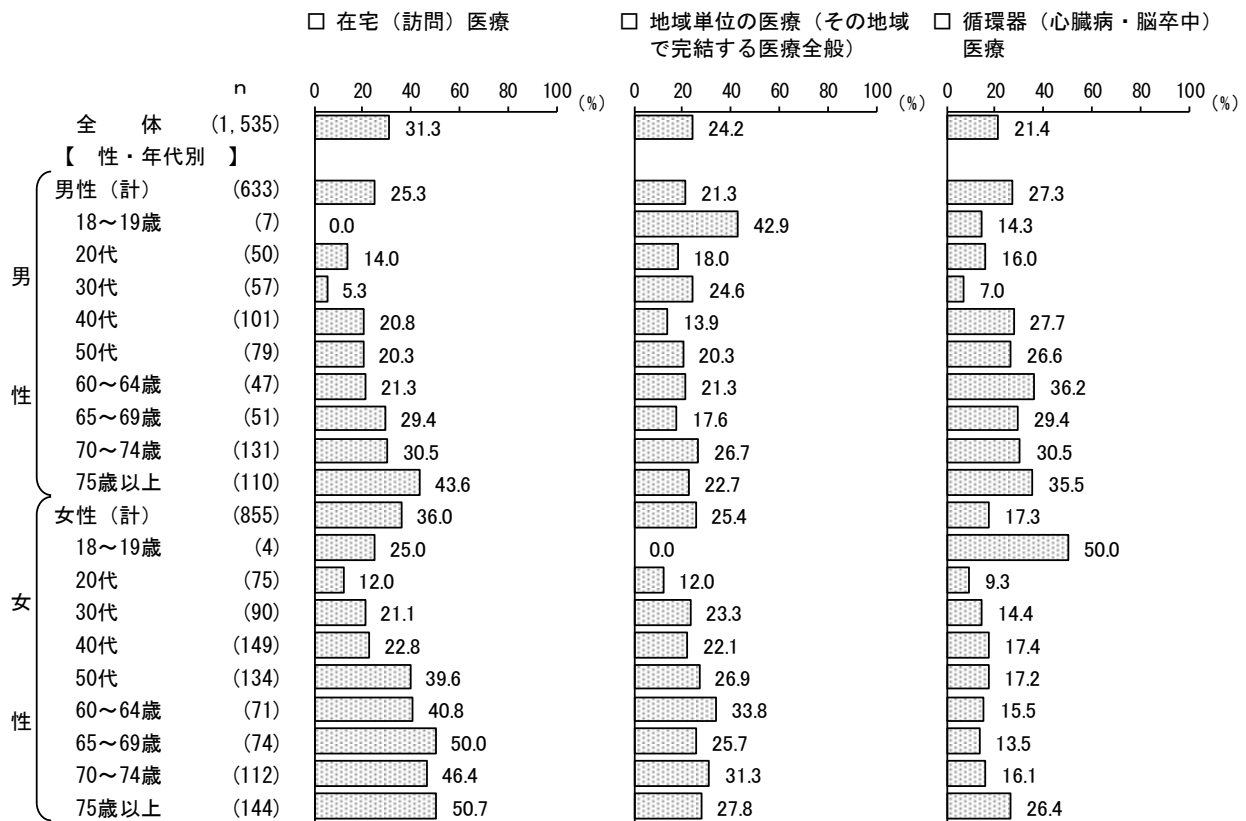
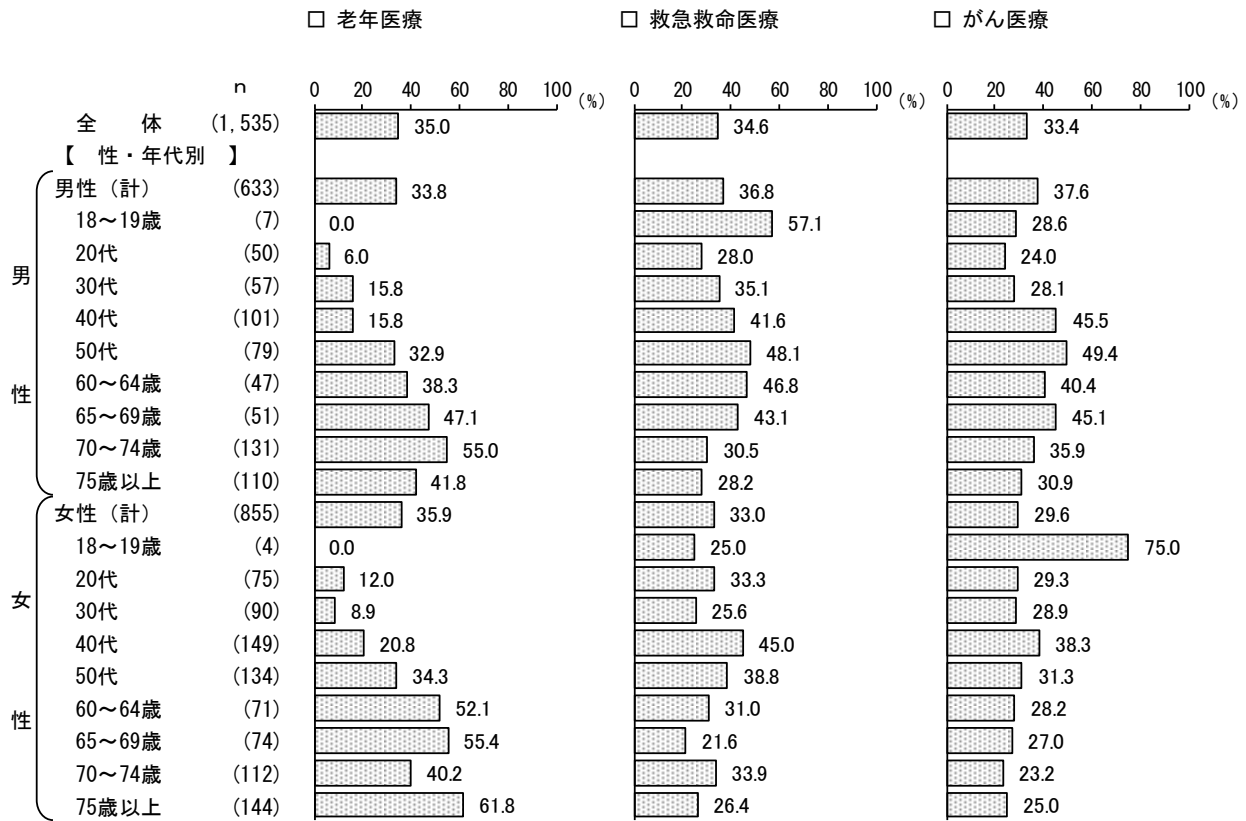
「在宅（訪問）医療」は女性の75歳以上（50.7%）と女性の65～69歳（50.0%）が５割、女性の70～74歳（46.4%）と男性の75歳以上（43.6%）が４割台半ばで高くなっている。（図表 3-4）

<図表3-4> 今後、県に力を入れて欲しい医療（3つまでの複数回答）

／地域別、性・年代別（上位6項目）



第67回県政に関する世論調査（R6年度）



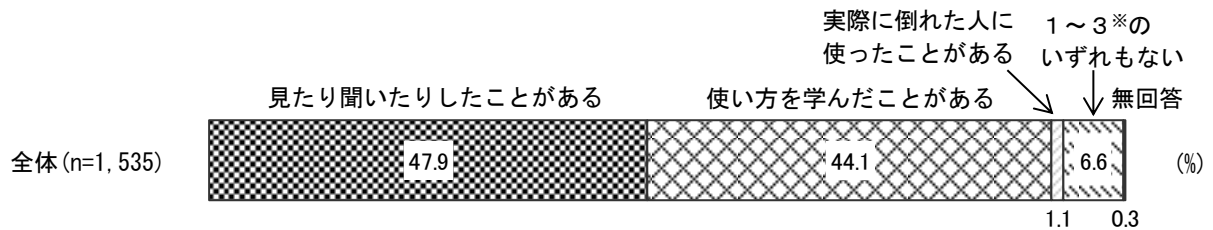
（3）AEDの認知度・利用経験

◇「見たり聞いたりしたことがある」が約5割

問22 あなたは、AED（自動体外式除細動器）※という機器について見聞きしたり、使ったことがありますか。（○は1つ）

※ AED（自動体外式除細動器）とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

<図表3-5> AEDの認知度・利用経験

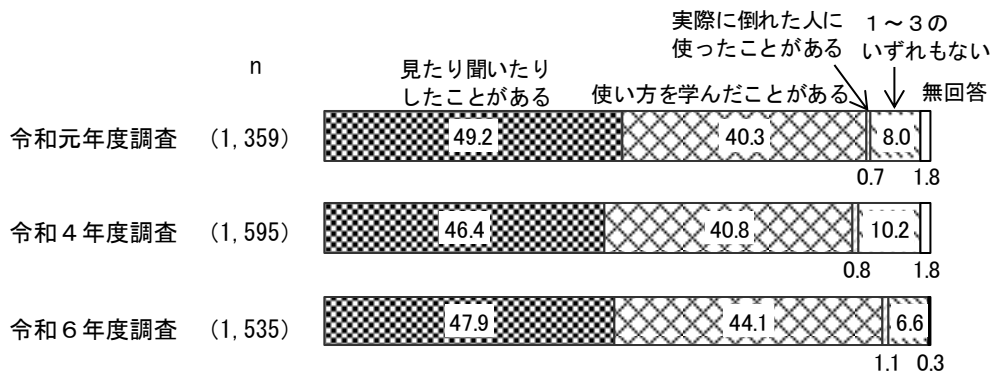


※ 1～3とは、「見たり聞いたりしたことがある」、「使い方を学んだことがある」、「実際に倒れた人に使ったことがある」を指します。

AED（自動体外式除細動器）について見聞きしたり、使ったことがあるか聞いたところ、「見たり聞いたりしたことがある」（47.9%）が約5割、「使い方を学んだことがある」（44.1%）が4割台半ばとなっている。

一方、「1～3のいずれもない」（6.6%）は1割未満となっている。（図表3-5）

〔参考〕令和元年度・4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、「見たり聞いたりしたことがある」は“海匠地域”（66.7%）が6割台半ばで高くなっている。

また「使い方を学んだことがある」は“印旛地域”（54.4%）が5割台半ばで高くなっている。

（図表3-6）

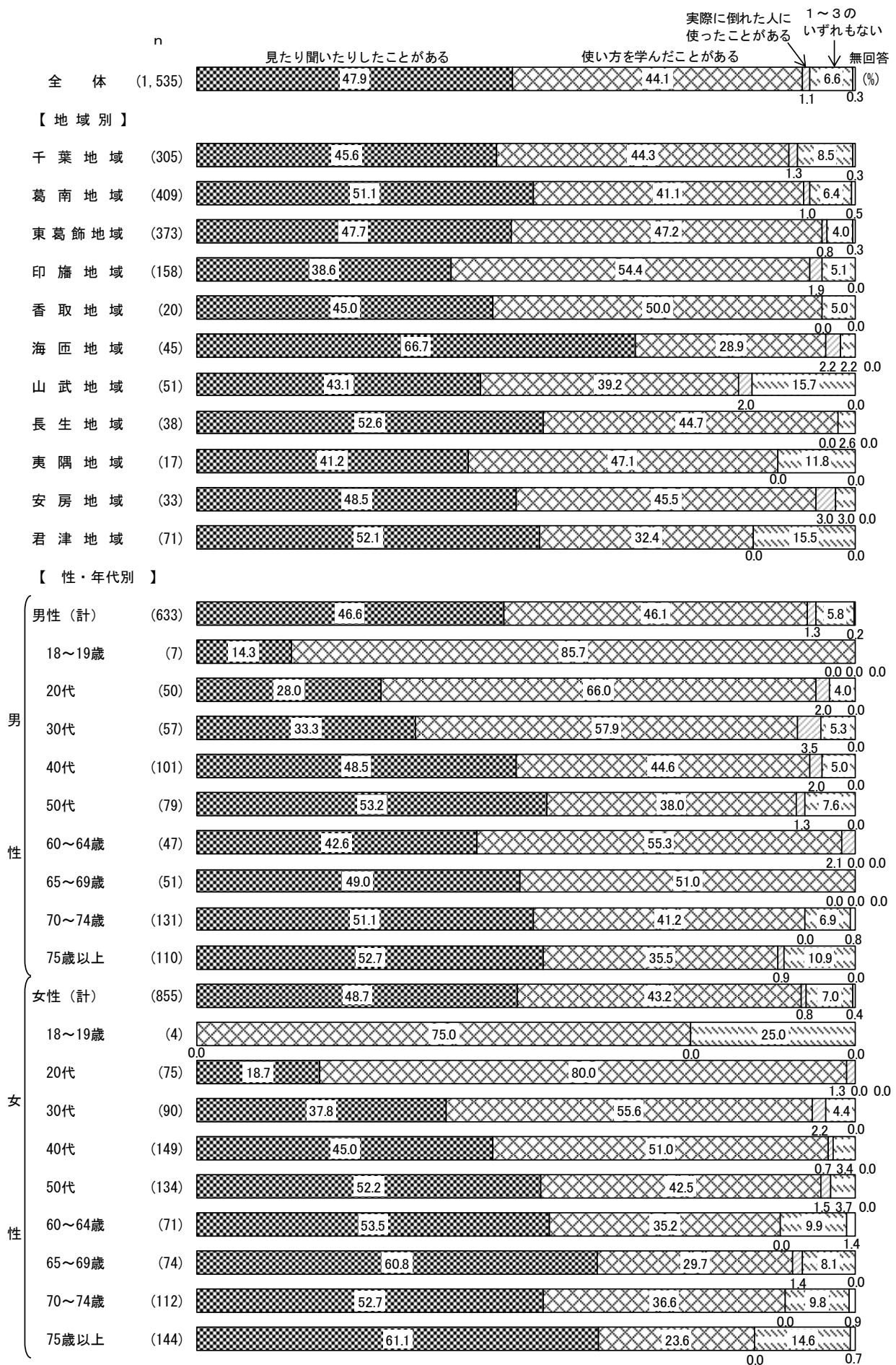
【性・年代別】

性・年代別にみると、「見たり聞いたりしたことがある」は女性の75歳以上（61.1%）が6割を超え、女性の65～69歳（60.8%）が6割で高くなっている。

また「使い方を学んだことがある」は女性の20代（80.0%）が8割、男性の20代（66.0%）が6割台半ば、男性の30代（57.9%）が約6割、女性の30代（55.6%）が5割台半ばで高くなっている。

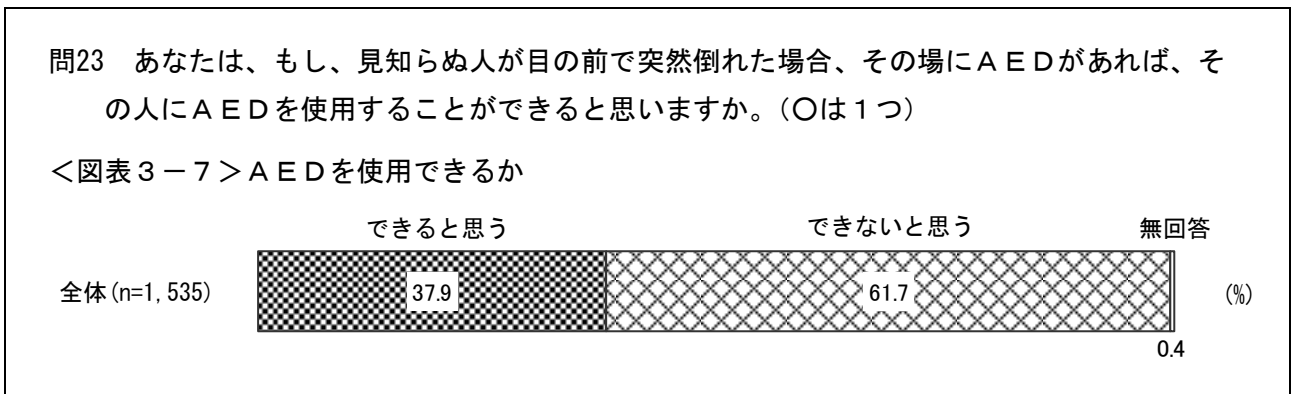
（図表3-6）

＜図表3-6＞AEDの認知度・利用経験／地域別、性・年代別



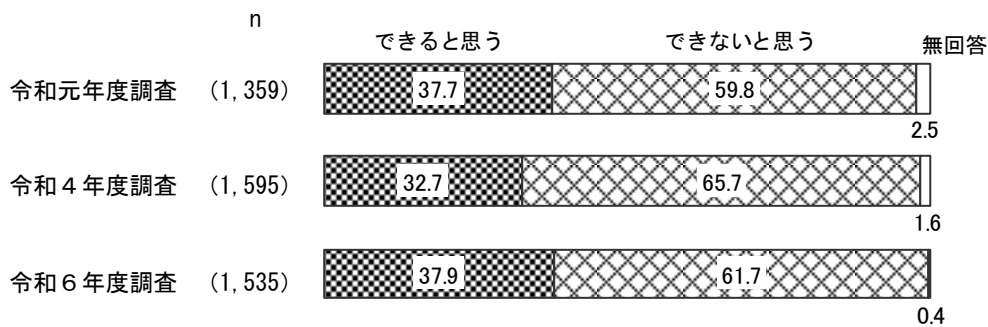
（４）AEDを使用できるか

◇「できると思う」が約４割



AEDを使用できるか聞いたところ、「できると思う」（37.9%）が約４割となっている。一方、「できないと思う」（61.7%）は６割を超えている。（図表3-7）

〔参考〕令和元年度・４年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



※令和元年度、令和4年度では「できると思う」は「できる」、「できないと思う」は「できない」で実施

【地域別】

地域別にみると、「できないと思う」は“葛南地域”（66.0%）が6割台半ばで高くなっている。（図表3-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「できると思う」は男性の60～64歳（57.4%）が約6割、男性の30代（56.1%）が5割台半ば、男性の20代（52.0%）が5割を超え、女性の20代（49.3%）と女性の30代（48.9%）が約5割で高くなっている。

一方、「できないと思う」は女性の65～69歳（81.1%）が8割を超え、女性の75歳以上（79.2%）が約8割、女性の70～74歳（76.8%）が7割台半ばで高くなっている。（図表3-8）

<図表3-8> AEDを使用できるか／地域別、性・年代別

